



第一薬科大学後援会北九州支部総会報告

支部長 田代理佐

【日時】令和6年9月1日(日)10時~13時30分

【場所】プレミアムホテル門司港4階

【出席者】保護者17名、学生9名

本部役員2名(大村幹事、福田幹事)、前田事務局長

大学より白谷教授、卒業生の有吉様、薬学ゼミナールより松本先生をお招きし、北九州市門司区で開催しました。

まず北九州支部の活動内容を報告し、講演する先生方と後援会本部の役員の方々と事務局長を紹介しました。次に3名の先生による講演が行われ、講演終了後に質疑応答の時間を設けました。支部総会終了後は、同ホテル2階のイタリアンレストラン「ポルトーネ」で懇親会を実施しました。

《 講演1 卒業生 有吉浩平様 ~七転び八起きの精神で~ 》

- 授業をしっかりと聞き、一夜漬けでのテスト勉強をせずしっかりと準備をして試験に挑む
- 5年生までに物理、化学、生物の基本を理解することが国家試験合格につながるカギ
- 問題を解いて理解しないと意味がない
- どうにかなるといふ心を捨てる
- これでだめなら仕方ないと思えるまでやりこむ

体調が万全でない状態での講演、本当にありがとうございました。

後輩への心強いエールになったことと思います。

《 講演2 薬学ゼミナール 松本賢先生 ~薬剤師国家試験合格に向けて~ 》

- 実践問題の中で、臨床問題の文字数が増えている。多くの情報の中から必要な情報を抜き出すことを苦手とする学生が多いため、演習が必要になる。
- 国家試験の過去問(毎年、20%以上出題される)を理解しておくことが大事である。正答率60%以上の問題を繰り返しやり、理解していれば合格する。
- キーワードをスラスラ言えるようになるまで覚え、何でこうなるのか何で…何で…を説明できるような学習方法が大切である。
- 問題の解き方のコツは、説明ができなければ教科書に戻る、解説を読んでわかなければ教科書に戻るの繰り返しである。
- 過去問の使い方が重要である(過去10年分の国家試験解説動画が薬ゼミのLINEから閲覧できる)

《 講演3 薬学教育推進センター 白谷智宣教授 ~大学の近況について~ 》

- 地域医療の中で、問題解決能力をもつ薬剤師が求められてきている。そのため薬学教育に変化がみられ卒業後、即戦力として働ける薬剤師を育成することを求められている。
- 進級率については、各学年5%ずつ上がっているが、CBT不合格や卒業延期につながらないように努力しないといけない。
- CBT80%獲得できれば国家試験65%獲得できる(国家試験合格)というデータがあり、CBTの各科目の不合格率を下げていくことを推進し取り組んでいる。
- 低学年に必要なことは、講義をきちんと聴き、どれだけ1日の勉強時間を確保できるかどうかである。これを乗り越えると国家試験合格につながる。
- 実習先や就職先では、本学の卒業生が指導してくれることが多いという事実が本学の特徴である。つまり、安心して社会の一步を踏み出しておいでということ。
- 信頼できる薬剤師になるためにはコミュニケーション能力が必要になるため、学習に影響が出ない程度でアルバイトの経験を積んでほしい気持ちもある。

- 過去8年間分の問題を解きこむこと、正答率の高い問題から解いていくこと。
- 本学の卒業試験が難しいと言われているが、卒業試験の合格ラインは60%、国家試験の合格ラインは65%であり難易度は変わらない。

《 質疑応答 》

Q.薬剤師国家試験に関して、出願者数と受験者数の差は何でしょうか。

A. 出願者数：6年在籍者全員の人数、受験者数：卒業延期の生徒を除いた人数となっている。

Q.9月卒業生の国家試験合格率は何%くらいでしょうか。

A.昨年度のデータでは、50%強となっている。一方、3月卒業し国家試験不合格の生徒の合格率は100%であった。

Q.6年生夏季合宿勉強会は第一薬科大学への通学で行えないのでしょうか。

A.合宿の意味は、暑い夏の期間にここまで頑張った！という自信をつけるための意識づけの時間ととらえてほしい。以前、通学での勉強会を許可したことがあるが、通学組が出席しなくなったという経験がある。合宿という形で継続したいのでご理解をいただきたい。

●まとめ●

今年は開催会場を変え、代議員の森さん、支部手伝いの有馬さん、上松さんのお力添えがあり無事終了することができました。支部総会開催直前に台風が接近しましたが大きな被害もなく、当日は晴天にも恵まれ、総会・懇親会終了後に門司港周辺を散策される方もいらっしゃいました。

来年度も支部総会・懇親会を予定しており、より多くの皆様とより良い情報交換の場になりたいと思っております。

今後とも、支部活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

